

微分方程式の解の解析性とその周辺

2006 年 10 月 22 – 23 日

金沢市西町 3 番丁 16 番地

金沢市西町教育研修館内

金沢大学サテライトプラザ 3 階大講義室

10 月 22 日 13 時 – 18 時

13:00 – 13:10 開会の挨拶

13:10 – 13:50 小澤徹 (北大)

Schrödinger 方程式の解の解析性

14:00 – 14:40 山澤浩司 (カリタス短大)

複素領域におけるある非線形偏微分方程式に対する Gevrey 型漸近展開を持つ
真の解について

14:50 – 15:30 萬代武史 (大阪電通大)

複数のフックス型変数を持つ偏微分方程式の滑らかな零解

15:45 – 16:25 藤家雪朗 (兵庫県立大)

Width of shape resonances for non-analytic potentials

16:35 – 17:15 Werner Balsler (Univ. Ulm, Germany)

Formal solutions of linear partial differential equations with constant
coefficients

17:20 – 18:00 三宅正武 (名大)

Study on analytic theory of ordinary and partial differential equations,
and their relations

10 月 23 日 10 時 – 16 時

10:00 – 10:40 吉野正史 (広島大)

Irregular singularity and divergence in analytic partial differential equations

10:50 – 11:30 田中和永 (早大)

TBA

11:40 – 12:20 若林誠一郎 (筑波大)

定係数の特性多項式をもつ双曲系について

13:45 – 14:25 松本和一郎 (龍谷大)

システムのコーシー・コワレフスカヤの定理をめぐって

14:30 – 15:10 山本和広 (名工大)

境界に接する弾性波に沿う解の特異点の伝播

15:20 – 16:00 中西賢次 (京大)

Gross-Pitaevskii 方程式の解の時間漸近挙動

16:00 – 閉会の挨拶